

30歳から始める

ドリフト

目指すは三十路の星!

修練塾



photo—澤田和久 report—佐藤 圭
撮影協力—相模湖ピクニックランド

今月の課題 定常円旋回 パイロンあり

●前回同様の円旋回だが、今回はパイロンを中心にグルグルと回る。たった1本のパイロンだが、クルマの位置を修正する必要があるため、難易度がアップする。認知/判断/操作という運転に必要な作業を、スムーズに行う必要があるのだ。



実際に走行するのは、今回で2回目。まだまだ初歩段階だからこんなトコでつまずいてほしくないんだけど、問題児が1名……。言うことと態度がでかいわりに、マサは運転が伴っていないんだよね。

前はパイロンなしで自由に回ってもらったんだが、今回は「パイロンを中心に」という条件を加えた。ふたりの練習を見ていて気がついたんだけど、どうやら大切なのはスタート時のパイロンの位置。そのクルママのアンダー/オーバーといった性格を考えてスタートしないとうまくできないらしいのだ。

オイラもいろいろなドリフトレースに呼ばれてきたが、これは新発見。というのもこんな初歩段階でつまずくやつはまずいないからね。ある意味、マサのおかげで新しい発見ができたから感謝ってことか!?

つまりマサのS13は、フロントがグリップしない中古タイヤでリヤはそこそこ食う新品タイヤ。アンダーが出やすいことを計算してやらないと、パイロンのはるか遠くで円旋回するハメになるんだ。

そこでパイロンからだいぶ離れた場所でスタートさせてみたら、なんとパイロンを中心に回れるように



こやろんだよ!

本気だよ、この人……

危やろん!!

目標物があるだけで難易度は激変
ひよひよパイロンを置いての
旋回に挑戦!



余裕で合格/
80点

出席番号2 竹ちゃんの進級テスト



コツをつかんたら、
左回りも難なくクリアだ

まずは竹ちゃんだけど、右回りはほぼ完璧にできるといってもいいレベル。円の形を崩さず何周も回れるのは、ひとつひとつの操作が遅れていないという証拠なんだ。カウンターが遅れると、それが積み重なってどんどん円から楕円に変形してしまうからね。竹ちゃんの場合は操作が遅れても、それを修正する方法を覚えたから平気ってワケだ。そして次は左回り。最初は見えにくさに戸惑っていたみたいだけど、見えないなりに「パイロンはココにあるだろう」と予想して、クルマの位置を修正するようになった。この段階でそれに気づくなんて、かなりセンスがいいと思うぞ。うーん、このままじゃ竹ちゃんだけ先に進んでしまいそうな気が……。

▶「左回りはパイロンがピラーの陰に隠れてやりにくかった。でも、隠れるってのはその位置にあるってことって考えたら、コツがつかめたよ」次の課題もこの調子で!

バッチリ♡



◀左回りが苦手という人は、走り放しだとトレッド今回の竹ちゃんが考えた攻めが、早く鋭く切れてしまう。竹略法を参考にすべし。そう、竹ちゃんは集中して走るタイヤすれば、右回りと同じ感覚、ブなだけで、適度に休憩できてるようになるはず! をしたほうが長持ちするぞ。

なってきた。本来はパイロンの位置は関係なくてきてほしいが……。右回りができたら、次は左回りにチャレンジしよう。左回りで注意しなきゃいけないのは、パイロンが見えにくいつつこと。最初は目標物が見えないことに戸惑うかもしれないが、基本的な操作に違いはない。右回りが完璧にできる人なら、さほど問題なくクリアできるはずだぞ。

すっかり優等生となっている竹ちゃんは、相変わらずのみ込みが早い。右回りはあっさり合格で、左回りも最初こそ手こずって失敗していたけど、すぐ慣れてくれたのでひと安心だ。なかなか筋がいいぞ! 今回はスベアのタイヤを持ってきていたので、帰りを心配せずに中身の濃い練習ができた。もしかして2人とも、コツ練してたのかな?

どうだ!!

出席番号1 坂東マサの進級テスト



▲「アクセルの量とカウンターのタイミングはわかったぞ! でも、やっぱり左回りは苦手だな。ま、次は余裕でクリアしてやるよ!」

とりあえず
3周はできた
あとは繰り返し練習だ!



◀スタート時にステアリングを切りすぎてると、カウンターも多く必要なので、操作が徐々に遅れてしまふ。コレはかなり重要だ!

前回は本気でさじを投げようと思ったんだが、今回はかなり進歩してくれた。感心したのはアクセルワークで、全開か全開かのスイッチ系が、微妙に調整できるようになった。その結果、右回りは問題なく合格。しかし左回りがね……。頭ではわかっているのだろうが、いざ走り始めると「右回りとは別物」と感じるようで、アクセルワークも含めてクルマの操作がまともできない。目標物が見えないことが最大のネックなんだろうな。次回はパイロンに長いノボリのようなものをセットして、目標物をより見やすくしてあげよう検討中だ。それでも、なんとか3周は続けられたので、そろそろ合格/進級を許可する。この感覚を次まで忘れないように!

ギリギリ合格/
69点



次号
予告



次回はパイロンを2本に増やしてみるぞ。つまり、今までのような円形ではなく、楕円形を描きながら回る練習だ。カウンターのタイミングや量も変わってくるし、もっと細かいアクセルコントロールも必要になる。コレができれば、やっと「ドリフト」と呼べるかな!

CASE 1
坂東マサ



CASE 2
村尾チンゴ



村尾チンゴのワンポイントアドバイス
初級者と上級者では
なぜスタート位置が違うの?

スタートするときのパイロンまでの距離は、クルマやタイヤの差などで変わるんだ。上級者ならどこにパイロンがあっても(たとえ真横にあつたとしても)問題ないけど、初級者は絶対にムリ。右回りの場合は、クルマの右斜め前方に置くのがセオリーだね。アンダーが出てしまふなら、もっと前に置いてみるとやりやすいはずだぞ。最初のうちは隠れた位置からスタートしてもいいが、慣れたらその距離をだんだん縮めていってみようぜ!

